

---

# 第13回愛媛形成外科研修会

## 抄 録 集

---

日 時 平成 16 年 6 月 26 日 (土) 16 時～

場 所 独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター  
管理棟 2 階会議室

TEL : 089-932-1111

当番世話人 独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター (形成外科)

河村 進

# 愛媛形成外科研修会

会 期	世 話 人	会 場	日 時	参加者
第1回	河村 進 (四国がんセンター形成外科)	松山成人病 センター	平成10年 7月4日	15名
第2回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県医師会 研修所	平成10年 12月5日	17名
第3回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	松山成人病 センター	平成11年 6月19日	20名
第4回	河村 進 (四国がんセンター形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成11年 11月27日	19名
第5回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成12年 6月24日	17名
第6回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成12年 12月9日	20名
第7回	河村 進 (四国がんセンター形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成13年 6月23日	23名
第8回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成13年 12月8日	23名
第9回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成14年 6月8日	27名
第10回	河村 進 (四国がんセンター形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成14年 12月14日	27名
第11回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成15年 6月28日	25名
第12回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成15年 12月13日	25名
第13回	河村 進 (四国がんセンター形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成16年 6月26日	

## 第13回 愛媛形成外科研修会

### 研修会

1. 受付は当日 15 時 30 分より会場で行います。車でお越しの方は、会場受付で無料駐車券をお配りします。
2. 参加費は1,000円を申し受けます。
3. 演者で、まだ研修会会員でない先生は、入会の手続きをお取りください。
4. 口演と討論時間は、一題あたり10分を予定しております。
5. 発表形式はWindows Power PointによるPCプレゼンテーションでお願い致します（当日はCD、MOにてご持参下さい。）なお、やむを得ない場合は、スライドおよびMacによる発表も受け付けます。
6. 症例検討では、スライド、レントゲンフィルム、白板が使えます。

### 研修会総会

17時40分から会場で行います。

### 連絡先

〒790-0007

松山市堀之内13

独立行政法人国立病院機構四国がんセンター

形成外科 河村 進

TEL 089-932-1111

FAX 089-932-1185

skawamura@shikoku-cc.go.jp

# 研修会プログラム

SECTION 1 1～3 (16:00～16:30)

座長 永松 将吾先生

## 1. 広範囲熱傷の治療計画

愛媛県立中央病院 形成外科 ○徳永 和代、小林 一夫、  
浜田 裕一、弓削 俊彦  
おがた形成外科 緒方 茂寛

当科の広範囲熱傷の治療指針を報告する。ショック期では、深達度や広さの診断後、輸液管理は尿量0.5ml/kg以上を目安にParkland's formulaに準じ、進行する肺水腫には、呼吸器による管理を行う。感染期においては、受傷後1ヶ月後に焼痂面積が10%未満を目指しデブリードマン、植皮術を計画する。少ない採皮部の再上皮化を待つ期間は、温浴療法やリハビリを行う。今回経験した、20歳男性、BSA60%のflame burnの症例を治療指針と共に供覧する。

## 2. 同種植皮を用いた乳児広範囲熱傷

愛媛県立中央病院 形成外科 ○弓削 俊彦、小林 一夫、  
浜田 裕一、徳永 和代  
小児科 山本 英一、大藤 圭子  
おがた形成外科 緒方 茂寛

症例はVSDを有する11ヶ月、女児。背部から大腿にかけ主にDDBの30% scald burnを受傷。CVP5mmHg以下に管理し保存治療させる方針であったが、MRSAの検出後、利尿剤の必要量が増し、心負荷の増悪も見られ、感染性心内膜炎など致死合併症の続発を示唆された。第13病日にautoとallograftを施行した。術後10日目までに良好に上皮化しただけでなく、バランスも改善し心負荷の増悪を来すことなく治癒した。

## 3. 静岡がんセンターにおける電子カルテ運用の現状

静岡県立静岡がんセンター 形成外科 中川 雅裕、浅野 隆之、  
福島 千尋、石田 彩

静岡がんセンターは2002年9月の開院以来、完全ペーパーレスの電子カルテ運用を行っている。電子カルテは、コンピュータウイルス対策のため写真取り込み規制や診療・手術記録の絵図の記入困難等の問題は多い。しかし、いつでも・どこでも・どの職種でもカルテの閲覧・記入が可能のため、多職種チーム医療を行っている当院ではカンファレンスと同様に電子カルテは欠かせないコミュニケーションツールとなっている。

## SECTION 2 4～6 (16:30～17:00)

座長 浜田 裕一先生

### 4. 鎖骨開放骨折を伴う放射線皮膚潰瘍の一例

愛媛大学医学部附属病院 形成外科診療班 ○松本由美子、大塚 壽、  
中岡 啓喜、永松 将吾、  
向井 知子、原田 雅奈、  
光野 乃祐

79歳、女性。33歳時に左乳癌、44歳時に右乳癌で手術、放射線照射を受けた。  
10年前より右鎖骨部中央に骨露出を伴う潰瘍が発生、2ヶ月前より同部で鎖骨の  
骨折、突出を来たし、当科を受診した。右鎖骨部潰瘍より腐骨化した骨の突出を  
認め、周辺皮膚は萎縮、発赤、分泌液によりMRSAを検出した。腐骨の除去と  
周囲皮膚のデブリードマン後、僧帽筋皮弁による被覆を行った。再建法などにつ  
いて考察を加え報告する。

## 5. 広背筋皮弁による胸壁再建の1例

国立病院四国がんセンター 形成外科 前場 崇宏、河村 進

症例 67歳 男性。右上葉の肺癌が第3～5肋骨に浸潤しており、外科で右上葉切除および胸骨合併切除施行された。胸骨の欠損は扇状に約10×8 cmであった。この欠損を一期的に同側の広背筋皮弁単独で再建した。術式等の検討を報告する。

## 6. Fournier壊疽の4例

松山市民病院 形成外科 ○一色 恵美、森 秀樹、  
大塚 壽  
済生会今治病院 形成外科 手塚 敬

Fournier壊疽は、外陰部や下腹部における皮膚・軟部組織の感染症が深筋膜上で急速に拡大し、広範な壊死をきたす重篤な疾患であり、多臓器不全から死に至ることも少なくない。最近当科で4例のFournier壊疽を経験したので、文献的考察を交えて報告する。

## SECTION 3 7～10 (17:00～17:40)

座長 前場 崇宏先生

### 7. 臍部子宮内膜症の一例

愛媛大学医学部附属病院 形成外科診療班 ○原田 雅奈、中岡 啓喜、  
永松 将吾、向井 知子、  
松本由美子、光野 乃祐、  
大塚 壽

47歳、女性。35歳時子宮内膜症内服治療、36歳時帝王切開、チョコレート嚢腫のため卵巣切除、41歳時子宮内膜症内服治療の既往がある。46歳時より臍部に疼痛を伴う硬結が出現し、当院外科での生検で皮膚付属器炎と診断された。再び同部に疼痛、出血を伴う腫瘤が出現したため当科を受診し、生検で子宮内膜症と診断された。月経が終わると共に腫瘤は消失した。臍部子宮内膜症の発生原因、鑑別などを考察する。



## 8. 閉塞性動脈硬化症の症状緩和に対して

### アロマセラピーを使用した1例

四国中央病院 形成外科 吉永 理香

症例は72歳、男性。当院内科に閉塞性動脈硬化症の精査加療目的で入院。プロスタグランディンの使用でチアノーゼや疼痛は軽快していたが、精油を加えた足浴を行い症状の緩和が見られた。

## 9. neural fibrolipomaの一例

愛媛労災病院 形成外科 ○黒住 望、松永 吉真

neural fibrolipomaはlipofibromatous hamartoma of nervesとも呼ばれ、主として正中神経領域に発生する。手掌や前腕の神経幹及びその分枝内にみられる繊維脂肪組織が増殖し巨指症、carpal tunnel症候群、疼痛等の症状を呈する極めて希な疾患である。今回、本症と思われる一例の手術をする経験を得たので、文献的考察を加え報告する。

## 10. Ellis-van Creveld症候群の1例

松山赤十字病院 形成外科 ○庄野 佳孝

同 皮膚科 南 満芳

同 小児科 角 勇二

Ellis-van Creveld症候群の1例を経験した。症例は1歳女児。単心房（部分型心内膜床欠損症）、外胚葉形成不全（歯牙発育不全、爪形成異常）、軟骨形成不全（四肢短縮型の小人症）、両側小指多指症、両側多合趾症を認め、生後6ヶ月時に当院心臓血管外科で心房中隔形成術を施行されている。1歳4ヶ月と1歳7ヶ月時に多指症手術・合趾症手術を行ったので、若干の文献的考察を加えて報告する。

愛媛形成外科研修会総会（17：40－ ）